



南房総のハズシ

生徒理解の一助となる保健室 ～みんなの『困った』を一緒に解決～



「保健室にいる生徒にどう声をかければいいのか分からない…」

「私のクラスの生徒、保健室利用が多いけどなんでだろう。理由があるのかな。」

「学級担任としてまたは教科担任として、保健室の運営とどのように関わればいいのか？」

生徒指導における保健室の役割 ～けがや体調不良の対応だけの場所ではありません～

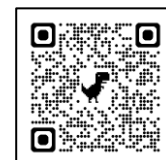
児童生徒にとって保健室は、**だれでもいつでも利用でき、安心して話を聞いてもらえる場所**でもあります。身体の不調を訴えて来室する児童生徒はもとより、不登校傾向や非行傾向のある児童生徒、性に関する課題のある児童生徒などにも日常的に保健室で関わる機会が多く、養護教諭はいじめや虐待などの問題についても発見しやすい立場にあります。

そして、生徒指導は、学校全体で取り組む教育活動であり、「チーム学校」の観点から保健室(養護教諭)との連携が不可欠とされています。特に教職員は、授業や学級経営に加え、生徒の小さなサインに気づき、SC(スクールカウンセラー)や生徒指導担当、養護教諭とつなげられる力が求められています。

また、様々な健康課題を抱える児童生徒が、どの学校においても課題解決に向けた支援を確実に受けられるように、養護教諭も日常的に他の教職員と連携することが求められています。

【生徒指導提要】

学校においては**「特段の用事がないのにたびたび保健室に顔を出す」「不自然なけがや頻発するケガでよく来室する」**また、あらゆる場面で**「何かと身体の不調を訴える」**などの身体に現れるサインや、虐待の兆候などを見逃さないように心がけましょう。



場面・タイミング	具体的なアクション	ワンポイントアドバイス
児童生徒が保健室利用時 (保健室に児童生徒がいることを廊下等から確認できたとき)	児童生徒へ「調子悪いのかな?」と声をかける。放課後でもいいのでどのような様子だったか、養護教諭に様子を尋ねる。	情報共有で、養護教諭や学級担任の今後の対応への理解が深まり、よりよい生徒指導につながります。
児童生徒の様子に変化があったとき	朝の表情、教室や部活動での様子などを学年職員や養護教諭に伝える。	少しの違和感でも、伝える習慣をつけると、多くの職員で児童生徒を見守ることができます。
欠席や遅刻・早退が増加、または学校へ登校したくないと言われたとき	管理職や生徒指導、SC等とチームで対応を考える。	検討会議で伝えられるように、こまめに学級や保健室での様子を記録しておきましょう。

(参考文献) 生徒指導提要(改訂版)文部科学省



(参考文献) 現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～文部科学省
学校教育における心の健康保持について 平成29年2月22日 文部科学省

さらなる健康教育の充実のために ～養護教諭担当指導主事の訪問について～

今年度から、南房総教育事務所に養護教諭担当指導主事が配置されました。今回は、養護教諭担当指導主事の各種訪問の際の活動内容についてお伝えします。

1 要請訪問について

- ・養護教諭に対して、日々の執務の現状や課題の共有及び指導・助言
- ・保健室経営等について、支援を必要としている学校

2 指導室訪問について

- ・展開Ⅰ：訪問責任者や指導主事と共に授業参観
- ・展開Ⅱ：保健室経営に関する参観（保健室参観）

※児童生徒の来室や対応等で難しい場合は授業参観等に変更します。

- ・分科会：養護教諭と保健室で実施

(主な内容)保健室経営や保健管理に関する相談など県の動向等の情報提供。

その他、書類閲覧など希望している学校は確認可能です。

記載以外のことでも、遠慮なく
御連絡、御相談ください！

